

令和２年度木更津市社会教育委員会議第３回定例会 会議録

1 会議名 令和２年度木更津市社会教育委員会議第３回定例会

2 開催日時 令和２年１２月１６日（水）午後２時～３時３０分

3 開催場所 木更津市立中央公民館 多目的ホール

4 出席者名（敬称略）

委員：鉢村美幸、平田和世、宮木明美、森廣賢一、安藤順子、城戸富貴、鶴岡俊之、
橋本ミチ子、伊藤素子、地曳昭裕、内田慎一郎、熊本秀樹、白石和義（１３名）

事務局：高澤茂夫教育長、岩埜伸二教育部長、中村伸一教育部次長、鈴木和代課長、
木村容子課長補佐、平野幸子係長、安川朱里事務員（７名）

協議事項（３）説明のため出席

小高幸男文化課長、森田益央図書館長、稲葉昭智金のすず副館長、星野隆弘中央公民館長

5 協議事項

（１）各種審議会・協議会報告について

（２）コロナ禍での社会教育・生涯学習事業の現状について

（３）その他

6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人０名

7 資料

令和２年度社会教育委員会議第３回定例会次第

ONLINE×きさらづ ツナガルフェス 2020 アンケート結果

令和２年度新しい生活様式を踏まえた公民館活動について

第１７回木更津市こどもまつり写真集

8 会議の内容

事務局 会議に入ります前に、資料の確認をご一緒にお願いいたします。

資料確認

これより令和2年度木更津市社会教育委員会 第2回定例会を開催いたします。

本日は、13名の出席であり、欠席は5名であります。従いまして、社会教育委員会 運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人はございません。以上報告いたします。

最初に、内田議長からご挨拶をいただきます。

内田議長 皆さんこんにちは。皆さん方と、顔を合わせるのは久しぶりでございます。

前回の会議におきましては、Zoomと会場に集まるという形式でしたが、今回はコロナ感染を注意した上で、皆様方にご参集いただきまして本当にありがとうございます。

また事務局等々、そして教育長はじめいたします、皆様方も、社会教育のためにこのような場を作ってくださいましたことを改めて感謝申し上げたいと思います。

皆様方、いろいろな団体で培ったご意見を忌憚なくお話いただきまして、よりよい会議にしたいと考えております。

時間が限られた中でございますが、どうぞ皆様方ご協力のほどお願い申し上げます。

事務局 ありがとうございます。続きまして、高澤教育長よりご挨拶を申し上げます。

高澤教育長 皆さんこんにちは。教育長の高澤でございます。

早いもので今年もあと残すところ2週間あまり、今日は師走のお忙しい中、第3回定例会にご出席いただき大変ありがとうございます。

相変わらず、コロナは収束が見えないというような形になっています。

また、最近では高等学校や高齢者施設での、クラスターが発生した中ではありますが、市内の小中学校は授業を行っています。

またこれから年末年始を踏まえて人の移動も多くなりますので、私たちも十分気を引き締めながら、生活をする必要があると考えています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本市の事業も中止が相次ぎました。地区文化祭もすべて中止となりましたが、生涯学習フェスティバルは、「オンラインきさらづツナガルフェス2020」という代替事業を実施いたしました。内容については後程報告があるようですが、安藤委員には実行委員長として、富田委員には副実行委員長として、大変ご尽力いただきましたことを心より感謝申し上げます。また、当日ご参加いただいた委員の皆様方にもお礼申し上げます。

今日は先ほどありましたように、限られた時間ではありますが、コロナ禍での社会教育・生涯学習事業の現状と、またそのあり方等について、皆さんにご協議いただいて忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

最後になりますが、10月26日に千葉県社会教育振興大会において、千葉県社

会教育委員連絡協議会表彰を地曳昭裕委員と吉田裕子委員が、また11月12日には木更津市生涯学習功労者表彰を中村みどり委員が受賞されております。なお同表彰については、木更津市PTA連絡協議会からのご推薦で富田浩委員も受賞されております。この場をお借りして、これまでの本市社会教育にご尽力頂きましたことへ感謝申し上げます共に、お祝いの方々皆様にもご報告させていただきます。大変おめでとうございました。

随分寒くなってきましたのでコロナそれからインフルエンザの方も、心配な状況であります。十分皆様お体ご自愛くださいますように、お祈りをして、冒頭の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは会議に入ってまいります。

今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会会議運営規則第2条第4項により議長をお願いいたします。それでは内田議長よろしくをお願いいたします。

内田議長 それでは、協議事項（1）各審議会・協議会の報告です。

各審議会、協議会に委員としてご出席いただいている皆さんから、報告事項があればよろしくをお願いします。

まず初めに、木更津市青少年問題協議会の橋本委員、ご報告いただければと思います。

橋本委員 先週審議会がありました。青少年に関わる各団体との情報交換をしました。各団体がコロナの中で活動ができないという話が主に出ていましたが、特に気になったのが、警察署からの話で、暴走族が久しぶりに出現したけれども解散できたという報告でした。そういえば家の近所で夜中にバイクの走る音が毎日聞こえていました。

いろいろな活動をしたいが、結局は、開催できない。どういうふうにしたら開催していけるかということをおみんなで考えていくしかないなと思っています。コロナ禍でもどう工夫したら、みんなが納得して、安心して参加できるような活動ができるかを考えなければいけないと思いました。以上です。

内田議長 ありがとうございます。次に木更津市生涯学習フェスティバル実行委員の富田委員ですが、今日は欠席でございますので、実行委員長をされた安藤委員、何かありましたらよろしくをお願いいたします。

安藤議長 お手元に「ツナガルフェス2020」のチラシをご用意いただきました。先ほど橋本委員も言いましたが、とにかくコロナだからできない、諦める状況が4月から続いていた中で、何か一筋の光が差したような気がいたしました。うまくいくかわからないけど、挑戦しようと思いました。生涯学習フェスティバルについては、経験がありましたが、Zoomで、生涯学習フェスティバルを開催することを想像ができませんでしたが、生涯学習課の皆さんのおかげです。実行委員会でも1回も委員と会わずにZoom会議だけで、本番まで行いました。オンラインでも繋がることできるというのは実感しております。

先ほど部長に教えてもらいましたが市議会で、取り上げていただいたようです。

私も地元の避難訓練の時に市議会議員から市議会でも「ツナガルフェス」について取り上げてもらったと聞いて、良い悪いのは別として、影響を与えられたと思いました。

コロナでもできること模索していこうと思いました。社会教育の原点というつもりで、これからも諦めずに、何かできたらいいなと思っています。私の溢れる感情だけでお話させていただきました。以上でございます。

内田議長 ありがとうございます。突然の対応で申し訳なかったです。後ほど、生涯学習課から詳しい報告があると思います。

木更津市図書館協議会の鉢村委員よりお願いいたします。

鉢村委員 今年度初めての図書館協議会は、10月30日に開催されましたが、私は残念ながら参加できませんでした。事前にいただいた資料の中で、新型コロナウイルス感染拡大防止のために閉館、そのあとに感染対策をしながら開館したけれども、利用者や貸出冊数が共に減少したようです。私の印象では、思ったよりも減少率が少ないと感じました。ということは、逆に言えば、コロナの中にあっても、やはり本を読みたい、図書館に行きたいという、そういうニーズは衰えなく存在してるんだということで、力強く感じました。

それから「大人のためのおはなし会」ですが、今年中止かと思いましたが、開催されていて本当に図書館職員の熱意に頭が下がる思いです。

これからも積極的に尽力できていければいいなと思いました。

内田議長 ありがとうございました。各委員の審議会、協議会関係の報告をいただきましたが、ご質問等ありますか。橋本委員お願いします。

橋本委員 ツナガルフェスはどんな年齢層が申し込んでいましたか。

内田議長 この後の協議事項の2の中で、事務局の方から説明ありますので橋本さんその時でよろしいですか。

それでは次に進めさせていただきたいと思います。

それでは続きまして、協議事項(2)「コロナ禍での社会教育・生涯学習事業のあり方について」でございます。このことについて、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局説明

中央公民館説明

内田議長 ありがとうございました。今のお二方からお話がございました。

コロナ禍での、ツナガルフェスと公民館の新しい生活様式を踏まえた公民館活動についてお話がございました。この件について、皆様方と意見交換会をしたいと思いますがどうですか。

この中には各子ども会、青少年相談員、青少年補導員の団体の代表の方達がいらっしゃいますので、各団体でコロナ禍での活動等の発表、あるいは、報告がありましたことについてのご意見、ご質問等ございますか。

では、私から質問して良いですか。

今の公民館で、感染対策しながらの事業や集まらなくても実践可能な事業、新しい

コミュニティの通信を利用した事業等がありますが、実際に利用した人たちの反応を教えてください。

公民館長 コロナ禍で公民館の利用者は減っていますが、来られた方に、普段の生活の様子や、参加した感想を伺いますと、改めてコロナ禍の中で、人と人との繋がりであったり、コミュニケーションの大切さを実感されているようです。オンラインで非対面型の交流、繋がりはこれから有効になってくると思います。

ただ、公民館や社会教育は、対面で触れ合い、膝を交えて話し合う実績を作ってきたという経緯がありますので、これからもやはり重要だと思います。コロナ禍でのオンラインや新しい取り組みをどのように活かしていくかを考える必要があると思います。

来館した方から「制約の中でもいろんな活動ができるのはありがたいね」というような感想をいただきました。

内田議長 ありがとうございます。率直な意見ですね。それでは、橋本委員お願いします。

橋本委員 Zoom のホストは、公民館が務めて進めていますか。

公民館長 今年度、各公民館に i P a d を購入して配布をしております。現在は中央公民館がホストになり事業を行っています。

ただ参加者には、インターネット環境が整ってるかを、条件確認しています。

橋本委員 各公民館がホストになれば地域ごとの活動ができると思います。

私はこの活動の中で、小さな子どもの親たちや今まで公民館の活動をしてこなかった人が、スマホを使って、地域のことを発信していけるような、企画側にもなるというかな、主体的に参加する側になるツールになるのではないかと考えていますので何か考えてください。

内田議長 現在市では Zoom のアカウントをいくつ持っていますか。

例えば各公民館で一つずつアカウントを取得してれば、各公民館ごとで主催して、その地域の方たちと繋がることができます。ぜひ、アカウントの数を増やしてという要望でよろしいということでご検討いただければと思います。その他いかがでしょうか。

安藤委員お願いします。

安藤委員 私は青少年補導員の立場でこちらの社会教育委員の会議に出席しています。

補導員では、お祭りの花火大会のパトロールが一番大きなイベント事ですが、今年度は花火大会がなかったので、補導員としてみんなで顔を合わせるということがほとんどありませんでした。

先週 11 日に、木更津駅にて高校生対象に啓発物、ウェットティッシュを、約 900 個配りました。高校生に「歩きスマホやめましょう」や「SNS 気をつけて使いましょう」という啓発活動をさせていただいた次第です。

あと別件ですが、先週地元の住民会議に参加しましたが、各団体の報告の中で、相談員が万羽鶴を作っていると伺いましたので、少し万羽鶴について教えてください。

森廣委員 青少年相談員では君津地域（木更津市、袖ヶ浦市、君津市、富津市）で、毎年「地

域の集い大会」を実施しています。今年、三舟山に登ろうと思いましたが中止となりました。6月の会議の時に、万羽鶴を作ろうという案が出ました。ちょうど高校野球が中止になるというので千羽鶴が作るという話を聞いたので、「4市の小学生に鶴を折ってもらおう」とこの事業がスタートしました。3年生から6年生までで、市によって違いますが、期限までに1束50羽にして作成しています。束にするのに鶴に糸を通す作業については文化部会で作業していますが、なかなか相談員自体が集まらず、集まれる人で制作しました。完成した万羽鶴を君津市は図書館、木更津市、袖ヶ浦市、富津市は市役所で2週間展示をします。

内田議長 ありがとうございます。

それでは木更津市子ども会育成連絡協議会、宮木委員お願いします。

宮木委員 子ども会も、今年度は様々なイベントが中止になっております。単位子ども会としては、活動している子ども会もあるようですが、市全体の子ども会としては、現在すべて中止になっております。

ただ、現段階では、1月24日に縄跳び大会を行うことを予定しています。子どもたちが何もないのもかわいそうだということで、縄跳び大会は、密にならないように開催する予定でおります。

内田議長 ありがとうございます。各団体の、三名の代表の方からお話を聞きました。こういった密を避けた中での活動は制限があるかと思います。

ただ、先ほどお話もありましたように、何もやらないというのは、繋がりが希薄になります。できる範囲内で、皆さんの創意工夫の中で各団体が活動していることを実感いたしました。ぜひコロナが終わった後でも、現在の試み自体が、教訓として活用できると思いますので、ぜひ皆様方、社会教育活動をさらなる地域活性化のために頑張ってくださいと思います。

伊藤委員お願いします。

伊藤委員 本日配布した「木更津こどもまつり」の冊子についてお話をさせてください。第17回目の「木更津こどもまつり」は、1年に1回の子どものための祭りです。最近は多くの方が来場しますので、7月頃に、今年の「こどもまつり」の開催について、いろいろと議論が行われました。木更津市にも後援をいただきましたが、大きな苦勞を伴いながら、開催しました。

今回新しい模索として、ラジオ放送を行いました。内容は、かずさFMに協力いただきまして、4時間の生放送を行いました。外出を自粛されている方も楽しんでいただきたい、遠方で今回は「こどもまつり」に参加できない方々に声をお届けをする形で、出展者のアピールや歴史の紹介や団体紹介など、様々な企画を打ち立てて、できるだけ視聴者さんにも参加いただける形で、取り組みました。

ラジオ放送の放送中に、「今子どもと聞いています」というメールをいただいたり、終わった後に、「4時間楽しむことができました」、「子どもが熱を出したから行くことを諦めたがラジオ聞くことで楽しめました」など、いろいろな声をいただき、私たちは、これは意味があった活動と感じております。

大分アピールはしましたが、そのアピールの仕方が難しかったです。子どもの声

を録音して、4時間の中に取り入れて、孫の声を聞けないおじいちゃんおばあちゃんもこのラジオを通じて、多くの世代の方が楽しめるということをアピールしました。

地域活性化を目指してみなと口のお店の紹介とか、子どもが喜ぶプレゼントつきでかずさ地域のお店の紹介など、そういった取り組みもやってみました。

内田議長 ラジオの放送で、チラシを見ながらラジオを聴く、なかなか面白い試みです。実践発表ありがとうございます。伊藤委員の実績報告で何かご質問はありますか。熊本委員お願いします。

熊本委員 今、ラジオの話がありましたが、先ほどの万羽鶴についても、県の地域振興事務所から私の方に話あり、これもラジオで30分ほど、皆さんに報告します。

また何かありましたらかずさFMや、私でもいいのでお話しいただければ、お役に立ちますので、一応参考までによろしくをお願いします。

内田議長 ありがとうございます。

熊本委員から力強いお言葉をいただきました。ぜひ皆さん、熊本委員に、コンタクトをとっていただければと思います。熊本委員ありがとうございます。

他はよろしいでしょうか。

それでは意見交換は終了させていただきます。

協議事項3に移りたいと思います。その他の事務局からのご説明が終わった後、鶴岡委員の方からもお話いただければと思います。

事務局の方からまずお願いします。

事務局説明

内田議長 続いて鶴岡委員お願いいたします。

鶴岡委員 貴重な時間をいただき、公民館運営審議会として報告をさせていただきます。昨日、定例会があり、実はちょうど1年前の12月の公運審の定例会において、市内の公民館長さんから、委員に諮問がございまして、「これからの地域における公民館の役割について」と、ということで答申をくださいと諮問をいただきました。

委員は20名いますが、その委員の中で7名の答申検討委員会を作り、答申検討委員会を行いました。コロナ禍ではありましたが、検討委員会を7回行い公民館運営審議会として答申を出しますので、委員の皆様には中間報告としてお話をさせていただきました。

年明け3月に公民館長に、答申をしますので皆様にご報告をさせていただきます。

これからも公民館の役割が続きますように皆様のご支援ご協力よろしくお願いします。

内田議長 ありがとうございます。

公民館運営審議会の方と、我々は密接な関係もありますから、ぜひ鶴岡委員を通じて、情報をいただければありがたいと思います。

それではその他にないようでしたら、以上をもちまして、令和2年度社会教育委員会第3回定例会を、終了させていただきたいと思います。

ありがとうございます。